#### 公開実用 昭和64-24054 (b)

⑲日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

母 公開実用新案公報(U)

昭64-24054

@Int\_CI\_4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和64年(1989)2月9日

B 65 H 5/02

N-7539-3F

G 07 B 5/00 101

客査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称

券類搬送装置

②実 願 昭62-118198

会田 願 昭62(1987)8月3日

砂考 案 者 見 高 沢

昭 東京都新宿区西新宿1-3-14 株式会社高見沢サイバネ

テイツクス内

砂出 顧 人 株式会社 高見沢サイ

東京都新宿区西新宿1丁目3番14号 (平和ビル)

バネティツクス

# 考案の名称 券類搬送装置

#### 2. 実用新案登録請求の範囲



乗車券等の券類を搬送する装置において、券類を移送する搬送ベルトと、前記搬送ベルトの 端の第1搬送ベルト車と、前記第1搬送ベルト車と 前記第1搬送ベルト車と 前記第1 搬送された第1回転 型の ラッチを介して連結された第2回転 型クラッチを介して連結された第2回転 型クラッチを介して連結された第2回転 製力ラッチを介して連結された第2回転 製力ラッチを介して連結された第2回転 製力ラッチを介して連結された第2回転 とを有することを特徴とする券額搬送を置。

### 3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は自動券売機等の内部において、乗車券等の券類を搬送する券類搬送装置に関するもので、特に1個の搬送路が複数の搬送速度を有して

## 公開実用 昭和64-24054

いる券類搬送装置に関するものである。

(従来の技術)

券紙を印字処理して有効な乗車券等の券類を発行する自動券売機においては、その内部に券紙を含む券類の搬送装置を有しているが、この様ななおの搬送速度は一様なものではない。すなわち、この搬送装置による搬送の途上においいている。 又はその搬送に係わって各種の処理が実行されるが、この為に速度の相違する幾種類かの搬送パクーンを必要としている。



従来、上記のような搬送速度の相違する複数の 搬送に対してはその一つの対応方法はその搬送装 置をその処理過程毎に別個独立なものとしたもの である。しかし、この方法はその駆動手段と共に その搬送装置をその速度の相違する毎にそれぞれ 別個に設けるのであるから、コスト高となること を避けることができない。

他の対応方法は駆動装置を複数とするが搬送部 は共用とするものである。この方法はコストはそ れだけ低廉となるが、しかしこれは別の欠点を有 している。すなわち、回転速度の相違する駆動手段(例えばモータ)相互の切り換えに際して、一方の駆動手段により駆動されている搬送部を停止させ、次いでその後他方の駆動手段により搬送部を駆動するので、比較的に時間が掛かる。

(考案が解決しようとする問題点)

この考案は上記に鑑み、駆動速度の相違する複数の駆動手段に対して1つの搬送部を設けて、これにより低コストにすると共にその搬送部又は搬送ベルトの搬送速度の切り換えに時間を費やすことのない券額搬送装置を提供するものである。

(問題点を解決するための手段)

本考察に係る券類搬送装置は、乗車券等の券類を搬送する装置において、券類を移送がから、前記搬送ベルトの一端の第1搬送ベルト車と、前記搬送ベルト車と1方向回転型クラッシーと、前記をされた第1回転型クラッチをことに乗りませる。

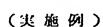


## 公開実用昭和64-24054

特徴を有するものである。

(作用)

搬送部又は搬送ベルト上で券類は例えば複数種 類の速度で、かつその切り換えに時間を要しない で、搬送される。即ち、例えば第1回転駆動手段 に遅い駆動速度のもの、そして第2回転駆動手段 に速い駆動速度のものをそれぞれ用いた場合、搬 送ベルト上の初期に券類は低速で搬送され、そし て搬送ベルト上の後期においては前記に比して高 速で券類が搬送されるが、この券類の搬送速度の 切り換えに際して時間が掛からない。従って、相 迩 す る 搬 送 速 度 を 要 求 す る 装 置 又 は 機 器 、 例 え ば 磁気券において、磁気読み取りヘッド及び磁気費 き込みヘッド等をこの搬送ベルトに沿って、それ ぞれ設置することができる。



次に、この考案の券類搬送装置の実施例を図面 を参照して詳細に説明する。

図面において、第1図はこの考案の券類搬送装 置の一実施例の側面略図、第2図は第1図A - A

線断面図である。

第1図及び第2図において、1は搬送ベルトで あって、直接には第1搬送ベルト車2及び第2搬 送 ベ ル ト 車 3 に よ っ て 駆 動 さ れ 、 券 類 4 は こ の 上 に乗って搬送される。5は押圧ベルトであり、押 E ベルト車 6 を介して駆動され前記券類 4 を前記 搬送ベルト1と共に挟持する。7及び8はそれぞ れ第1の一方向回転型クラッチ及び第2の一方向 回転型クラッチであって、第1及び第2搬送ベル ト車2及び3の速度が第1又は第2駆動ベルト車 9 及び 1 0 の そ れ よ り 高 い 場 合 は 各 搬 送 ベ ル ト 車 2 及び 3 と 各 駆 動 ベ ル ト 車 9 及 び 1 0 は フ リ ー と なり、そしてその逆の場合はその両者は連結状態 となり、各回転駆動手段の動力が各搬送ベルト車 に伝導される。11及び12は第1回転駆動手段 及び第2回転駆動手段(いずれも例えば交流又は 直流モータ)であり、その動力は第1及び第2駆 動ベルト13及び14を介して第1及び第2駆動 ベルト車9及び10に伝えられる。

上記第1回転駆動手段11及び第2回転駆動手

## 公開実用昭和64-24054

段12は前記でも少し触れたように、その回転速度を相違しており、例えば第1回転駆動手段11の回転速度を第2回転駆動手段12のそれより高くしている(速度の大小が上記と逆であってもよい。)。

駆動力の伝達は遮断される。

(考案の効果)

#### 4. 図面の簡単な説明

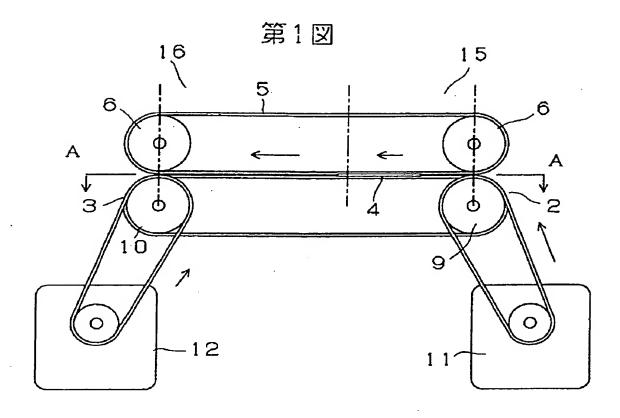
図面はこの考案の一実施例の券類搬送装置を示し、第1図はその側面略図、第2図は第1図A-A線断面図である。

## 公開実用 昭和64-24054

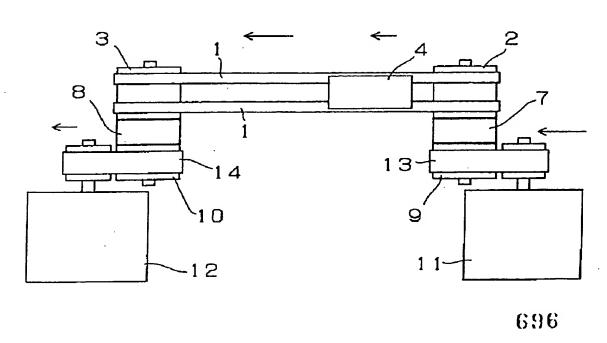
図中、1: 搬送ベルト、2:第1搬送ベルト車3:第2搬送ベルト車、4:券額、7:一方向回転クラッチ、8:一方向回転クラッチ、9:第1駆動ベルト車、10:第2駆動ベルト車、11:第1回転駆動手段、12:第2回転駆動手段。



実用新案登録出願人 株式会社高見沢サイバネティックス



第2図



実問で1~94054章

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потиев.

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.